

5月25日正午必着

明石春浦先生書



寂然不動（易經） しずかで動揺しない心境。

三浦士岳先生書



花邊好鳥春風酒。松下清琴夜月香（吳翀） 春風花邊に酒盃を傾け、松下の夜月に琴を聞く。

花開萬人集
花盡一人無
但見雙黃鳥
綠陰深處呼
其黃鳥何處
啼也呼

花開萬人集

花盡一人無

但見雙黃鳥

綠陰深處呼

(廣瀬旭莊)
雙黃鳥は一つがいの鶯。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

莫_レ福_二於_レ少_レ事

(菜根譚)

事少なきより福はなし

心辺にこたごたが少ないのが一番の幸福。

一簾疎雨琴書潤
滿坐清風枕簟涼

(陸 游)

一簾の疎雨琴書潤い
滿座の清風枕簟涼し

すだれに小雨が降りかかって琴も書物もしめりを帯び、
部屋一杯に清風が入って来て午睡の枕もとは涼しい。

春 日

(李咸用)

春 日

李咸用

浩蕩東風裏
危城三面水
衰世難_レ行道
滔滔天下者

浩蕩たり 東風の裏 徘徊して 親しむ所無し
危城 三面の水 古木 一辺の春
衰世 道を行_レい難く 花時 貧に称_レわず
滔滔たり 天下の者 何れの処にか 通津を問わん

窓近き竹の葉すさぶ風の音にいとどみじかきうたたねの夢

(式子内親王)

半紙部規定課題A

5月25日正午必着

草其
何如
芳

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

5月25日正午必着

行書



隸書



明石春浦先生書

草書



行草書



呉の地を遊歴し 更に越の地方に行き ただ風まかせ 波まかせに往来する
 またも貴方をお送りするのだが 春の草の茂るのをどうすればよいのでしょうか
 山の頂は明るく まだ雪が残り 潮は満ちて いっぱいに夕陽の日ざし
 いまものこる季子の祠廟 舟をとめて ちょっと立ち寄られるよう

送韓司直

皇甫冉

游吳還適越

來往任風波

復送王孫去

其如芳草何

山明殘雪在

潮滿夕陽多

季子留遺廟

停舟試一過

韓司直を送る

呉に遊び 還た越に適き

來往 風波に任す

復た王孫を送り去る

其れ芳草を如何せん

山明らかにして 殘雪在り

潮滿ちて 夕陽多し

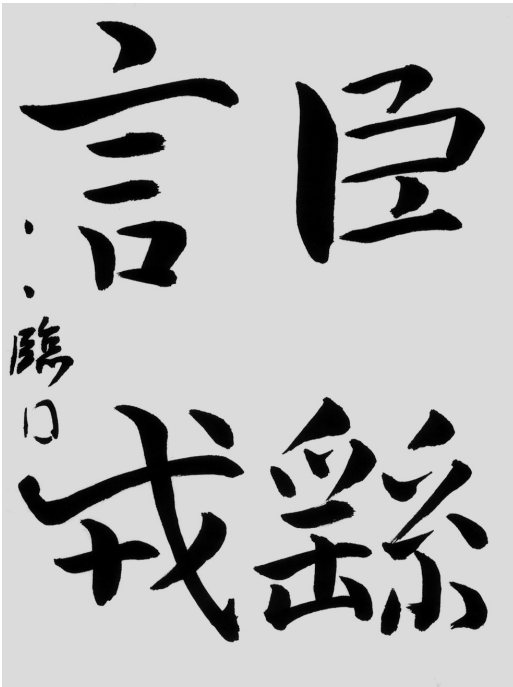
季子 遺廟を留む

舟を停めて 試みに一たび過

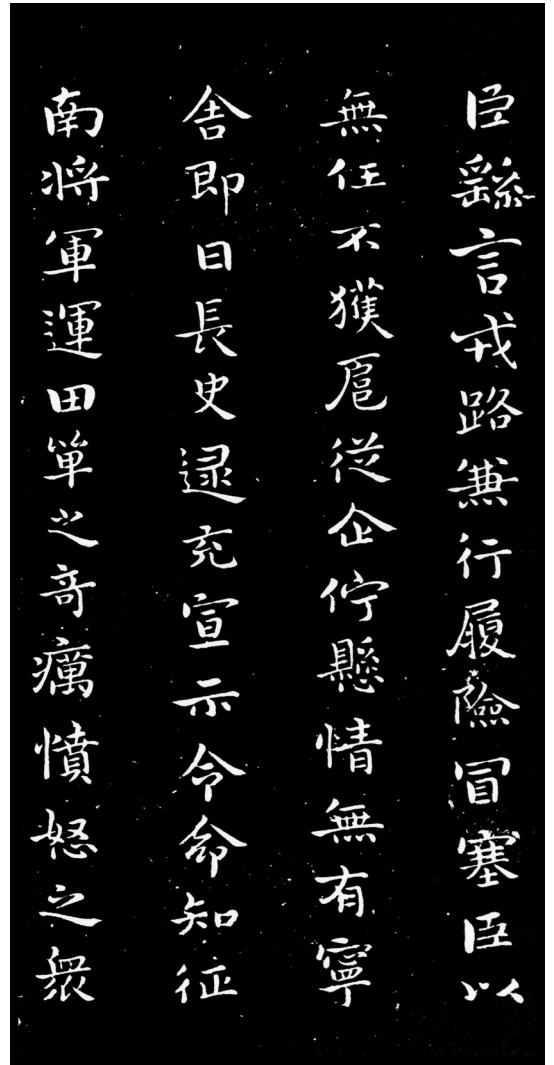
らんことを

(出典)
 朝日新聞社刊
 「三體詩」下より

5月25日正午必着



窪田華岳先生臨書



臣繇言戎路兼行履險冒寒臣以／
無任不獲扈從企佇懸情無有寧／
舍即日長史逮充宣示令命知征／
南將軍運田單之奇癘憤怒之衆

魏鍾繇・賀捷表

鍾繇（一五一―二三〇）は、字を元常といい、潁川長社（河南省長葛県の西）の人である。始め漢王朝に仕え、後漢の獻帝のとき、考廉にあげられた。その後、関係の深かった魏太祖曹操に手厚く迎えられる建國に尽くし、文帝、明帝と三代に仕えた。晩年膝を患ってからは輿にのって宮中に入ることを許された話は有名である。

書は、劉徳升に学び、八分、楷書、行書の三体をよくしたと伝えられるが、後世では楷書の名手として名高い。薦季直表・墓田丙舎帖・宣示表等を残したが、一説によると王羲之の手によって臨模されたものであるともいわれている。

この賀捷表は戎路表ともいわれ宣示表や薦季直表と比較すると古朴さに欠け、やや技巧的なところが見られる。

扁平で丸みをおび、行書的なところが多く、横画の起筆は筆を斜めにして筆圧を加え、後は軽く送筆しているように書かれている。また、全体に横画が細く縦画が太くなっており、温和で自然な用筆で運筆されている。

《倣書参考》

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。

臣繇言戎路兼行履
險冒塞臣以無

臣繇言戎路兼行履險冒塞臣以無

滿地碧烟新草色一
痕春意早梅花

滿地碧烟新草色

一痕春意早梅花

(文徵明)

あたり一面 緑のもやのように草が芽ぶき
ささやかな春のいぶきを ほころびはじめた梅の花にみる

5月25日正午必着

教育部毛筆

案内

あん
案内

ない
案内

中学一年

雨宮春聲先生書

文豪

ぶん
文豪

ごう
文豪

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

昭和

榎戸春龍先生書

しょう
昭

わ
和

小学五年

油絵

藤井良泰先生書

あぶら
油

え
絵

小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

5月25日正午必着



よう
用

じん
心

小学三年

藤田幸春先生書



あん
安

てい
定

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

に わ 小学一年・幼年



森戸春濤書

五 月 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

5月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

ジャングルは木々が重
なり昼でもうす暗い

小学五年

花の種類が多いこと
で知られている島だ

小学六年

他人のために喜んで奉
仕できる人になりたい

中学

子供にはすべての最も
大きな可能性がある

一般(級位)

今朝みれば山も霞みて久方の
天の原より春はきにけり

今朝みれば山も霞みて久方の天の原より春はきにけり(源実朝)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ぐ	げ
	ん
こ	き
い	に
の	
ぼ	お
り	よ

幼 年

あ	大
い	き
さ	な
つ	こ
を	え
す	で
る	

小学一年

と	山
ざ	を
ん	走
れ	り
つ	ぬ
し	け
や	る

小学二年

い	五
の	月
ぼ	の
り	空
が	に
ま	
う	こ

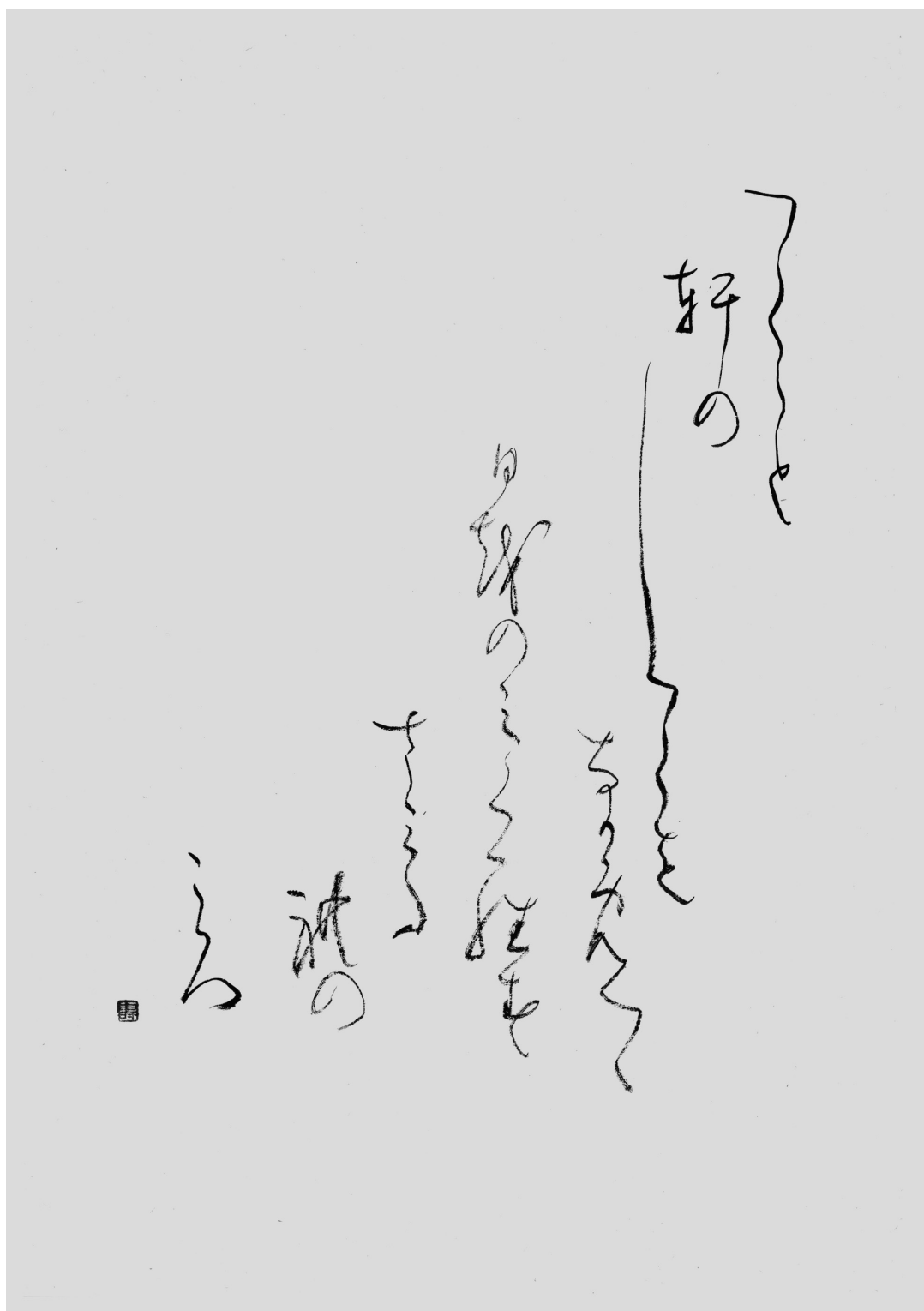
小学三年

人	森
々	に
は	よ
生	り
活	そ
を	う
す	よ
る	う

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

つくぐと軒のきのしづくをながめつゝひをのみくらすさみだれのころ（山家集・西行）
奈可免
日越
三
羅春
三
多禮



岩本景楓先生書

玄和書道会選抜

第42回



会期 平成27年 5月12日(火)～17日(日)
午前10時～午後6時
(16日は午後5時30分・最終日は午後5時閉館)

会場 東京銀座画廊・美術館 中央区銀座2-7-18
銀座貿易ビル7階 TEL 03(3564)1644

主催 玄和書道会 後援 毎日新聞社 (一財)毎日書道会

特別展示 明石春浦先生 (遺作)

西 墨濤

三浦 士岳

明石 幸子	雨宮 春聲	窪田 華岳	菅井 松雲	森戸 春濤
赤石 桂舟	新井 春廣	猪股 永春	榎戸 春龍	遠藤美代子
桜井 青浦	林 光浦	林 采園	昼間 翔雲	藤井 良泰
藤田 幸春	古澤 圭子	細谷 春誠	堀内 千恵	
秋谷 照浦	大村 静蘭	岡邑 清竹	押田 澄篁	川村 花邦
北原加枝子	鬼平不三思	河野 黎子	小林 桐花	近藤 嵐光
坂上 司泉	白戸 香風	鈴木 蘭嘉	関根 鴨山	谷口 萌蘭
東 未乾	徳田 心鐸	中村 岳萩	中村 秀月	野志 尚美
灰野 紅舟	羽田 招佳	林 北雲	藤井 浩治	藤田 南龍
松崎 春箏	圓山 翠蘭	山口 歳子	山本 坦蕩	横山 澄寛
若林 何有				
明石 雅佳	飯田 翠風	市川 清子	内田 澄香	片岡 古翠
窪田 好美	島根 梅香	鈴木 美春	須田 華舟	高橋 勝美
多田 通夫	花村 早苗	渡邊 翠蘭		
明石 有平	石原 典子	上村 昌仙	岡野伊予子	奥 光真
鹿山 桂華	斉藤 保堂	澤田 陽花	嶋田 香紗	白石 翠葉
鈴木 蒼峰	関根 華邨	高橋 南	竹下 春洋	竹下 青祥
富澤 素翠	富田 美紀	中島 智子	西山 孝子	松崎 澄花
松野 大輔				